

商船三井フェリー新造船「さんふらわあ ふらの」の乗船体験会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

特に、学校教育においてわが国の暮らしと産業を支える海運のことを取り上げていただくよう教育関係者に対し、資料提供や授業への協力等も実施しております。

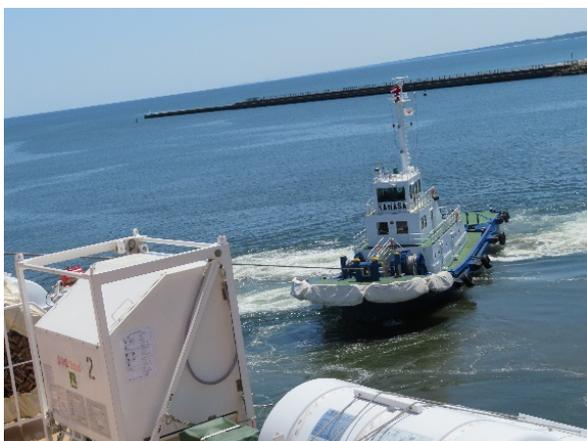
今般、本年度最初のイベントとして、商船三井フェリー(株)の協力を得て、5月2日(火)に開催したもので、東京都小学校社会科研究会の先生方をはじめとした教育関係者10名が茨城県大洗港にて新造フェリー「さんふらわあ ふらの」を見学しました。

当日は新造船の概要や船内設備等の説明を受けた後、客室や展望デッキ等を見学しました。また、実際に大洗沖をクルーズし、入出港の様子を船側から見学することができたとともに、タグボートが着岸・離岸するのを補助している様子を目の当たりにし、「様々な関係者が船を動かすために携わっていることが分かった」等の感想が寄せられました。さらに、「さんふらわあ さっぽろ」が同時時間帯に入港したため、船の中にトラックが出入りする荷役の様子も見ることができました。終了後の意見交換の場では、参加者から「子どもの生活と海が結びついていることを教えたい」「海に関する子どもの視野を広げたい」等の声が聞かれ、海運への認識が深まった乗船体験会となりました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。



◀乗船した「さんふらわあ ふらの」



▲タグが曳航している様子



▲船内設備の説明を受ける参加者